

金 沢 大 学

金沢大学 スケジュール等

H P	https://www.kanazawa-u.ac.jp/
受入が難しい日程	入試のため（12月～3月）

連絡事項：

No.	講座名	講座の概要	講師名	備考	受講者数 について	オンライン 対応	中学生 対応
融合学域先導学類							
1	いまどきのイノベーション	もともと「技術革新」と翻訳紹介されたイノベーションですが、実際はそのような狭義の概念には留まりません。現在用いられている、イノベーションとはどのようなものであるのかを、実例も交えながら説明します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
2	異分野融合の魅力	近年、単独の分野では解決できない課題も多く出てきています。また、あえて融合することで見えてくる課題もあります。異分野融合の新たな魅力を紹介します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
3	アントレプレナーって誰だろう	「アントレプレナー」という言葉をよく耳にしますが、何を意味しているのでしょうか。なぜ特に最近注目されているのでしょうか。必要性や背景についてわかりやすく説明します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
4	高校で習う科目からみたAIとビッグデータ	社会課題解決のためにはAI・ビッグデータを用いていきますが、これらは高校で習う科目とどのようなつながりがあるのでしょうか？科目のつながりと共に、身近な応用例についても学習します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
5	社会を変える方法教えます！？ ～先導学類の全く新しい学びとは	大学に進学する意味は？これからの時代に必要とされる「人財」とは、どんな人物なのでしょう？先導学類は、社会変革人財の育成を目指し、バックキャストの手法によって、従来の大学の学びを逆立ちさせます。この世界初の学びの一旦をご紹介します、皆さんがこれからどう生きるかについて高校時代から考えるきっかけを提供します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
6	ヒット商品の作り方	千三つと言われる新商品開発の世界。勝ち残った3つと、その他の997個との違いはどこにあるのでしょうか。マーケティング論の見地から、皆さんがよく知っている事例をもとに考えていきます。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
7	いまどきの「ものづくり」とイノベーション	「ものづくり」というと、なんだか古臭そうなイメージをもつかかもしれませんが、いまどきの「ものづくり」は、いろいろな技術の進歩のおかげで、情報技術と融合して、幅広い社会で活躍できる場面が増えてきました。この講義では、そのようないまどきの「ものづくり」とその可能性についてお話しします。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可

金沢大学 スケジュール等

H P	https://www.kanazawa-u.ac.jp/
受入が難しい日程	入試のため（12月～3月）

連絡事項：

No.	講座名	講座の概要	講師名	備考	受講者数 について	オンライン 対応	中学生 対応
融合学域観光デザイン学類							
1	新しい観光の動きと地域経済	観光の現代的变化と地域経済への影響を紹介する	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
2	「観光社会学」入門	「観光社会学」では、人と人との関係について研究する「社会学」という学問をベースに、観光について考えます。観光には、旅行者だけではなく、観光をプロデュースする人や受け入れ先の住民などさまざまな人が関わっています。観光をめぐるこれらの人と人との関係について具体的な事例をもとに講義します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
3	観光(インバウンド)という戦略	観光と日本の人口問題/ なぜ観光するのか/ いろいろな観光/ 観光立国とは/ 日本の観光資源/ 観光とダイバーシティ/外国人材の活用 etc.	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
4	観光を科学で分析する	データサイエンスと観光に関する近年の動向について学びます。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
5	観光とデザイン	コミュニティ・デザインなどの専門分野から、住民参加によるまちづくりをテーマに、観光者と住民の両者にとって望ましい都市デザインの理論と実践について学びます。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
6	観光とまちづくり	観光集客によるまちづくりや移動前提社会における観光まちづくりの基礎的理論と実践について学びます。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
7	観光と持続可能性	近年における持続可能な観光の動向について学びます。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
8	北陸と観光	北陸における観光動向やその特徴（地域特性）について学びます。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
9	観光と医学の融合	ウェルネス・ツーリズムやアクセシブル・ツーリズムといった、観光と医学の融合した最新動向について学びます。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
10	地域資源を活かした環境デザイン	自然・景観・歴史・食・文化・産業など多岐にわたる地域資源を活かし、どのように空間や環境をデザインしていくかについて学びます。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
11	「ランドスケープ」入門	観光の空間的基盤となる景観や緑地、庭園の役割や意義を学びます。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
12	観光と防災	観光と防災の視点から、観光地における交通計画や防災対策、ビッグデータの活用などを通して、持続可能な交通とまちづくりについて学びます。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可

金沢大学 スケジュール等

H P	https://www.kanazawa-u.ac.jp/
受入が難しい日程	入試のため（12月～3月）

連絡事項：

No.	講座名	講座の概要	講師名	備考	受講者数 について	オンライン 対応	中学生 対応
融合学域スマート創成科学類							
1	デジタルセラピューティクス	スマートフォンやVRデバイスのソフトウェア・アプリケーションが、病気を治療する力を持つことをご存知ですか？このようなデジタルを介して治療を提供するものをデジタルセラピューティクス(DTx)と呼び、内科的薬物治療、外科的治療に続く第3の治療法として注目されています。本講義ではDTxの概要と実用例、今後の展望についてお話しします。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
2	スマートヘルスケアと生体情報センシング	最先端のテクノロジーを活用して医療サービスを高度化する「スマートヘルスケア」において、「IoT」や「AI」といった情報関連技術の重要性は言うまでもありません。しかしこれらにも増して重要な「キーテクノロジー」として「身体の状態を測る技術」すなわち「生体情報センシング」があります。本講座では身体を傷つけずに生体情報をセンシングする数々の技術「無侵襲生体計測技術」の具体例について判りやすく説明します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
3	ものづくりの頭脳となる制御の原理	自動車、エアコンなどの身近なものから、製造工場などで重要な役割を果たしている「制御」の原理を紹介する。合わせる、保つ、省くために使われる制御について考えてみよう。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
4	ありとあらゆるところに存在するダイナミクス	日常生活で用いられるダイナミックという言葉は動きがあることを表現する際に用いられる。その動きをもたらす作用がその動きに反映されるのに時間がかかる仕組みがダイナミクスである。例えば、お湯を沸かすのに時間がかかるが、この現象はダイナミクスで説明ができる。いくつかの例を見て、ダイナミクスとは何なのかについて考えてみよう。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
5	人工知能・知能ロボティクスのこれから	みなさんの身の回りでは高度に知能化された技術がたくさん導入されています。また、次世代のAI（人工知能）技術について聞くことも多くなっているのではないのでしょうか？高度化された知的なシステムや次世代の自動運転自動車などの先端的な研究について紹介します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
6	健康づくりをライフコースで考えよう	みなさんは「まだ高校生だから不摂生をしても大丈夫！」と思い込んでいませんか？実は心や身体の健康は、生まれた瞬間からの様々な習慣の積み重ねによって変化することが分かっています。生涯健康でいられるために、今からできる健康づくりについて身体活動・運動の側面から説明します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
7	X線撮影の真の実力	X線画像は、医学や工学に広く応用されています。しかし、X線の真の実力はこんなものではありません。本講演では、①X線撮影の基礎および②X線撮影に関する最新の研究について解説します。X線に関する話題を題材に、“大学という学びの場”を広く知ってほしいと思い、講座を企画しました。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可

金 沢 大 学

金沢大学 スケジュール等

H P	https://www.kanazawa-u.ac.jp/
受入が難しい日程	入試のため（12月～3月）

連絡事項：

No.	講座名	講座の概要	講師名	備考	受講者数 について	オンライン 対応	中学生 対応
人間社会学域人文学類							
1	大学で学ぶ心理学	心理学は一般に認識されているイメージよりも広範囲にわたる心の科学です。心理学を専攻した場合の授業内容・スケジュールと授業内容の一端を紹介いたします。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
2	大学で学ぶ社会学・社会調査	社会学は、現代社会のあり方や変化を対象とする社会科学です。近年、急速に社会は変化していますが、ある程度、規則性や方向性がわかっていること、そして、変化しにくいこともあります。社会学の成果や考え、社会調査によるデータの収集法など、大学での学びの一端を、わかりやすく紹介したいと思います。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	不可	不可
3	衣服から考える地理学	私たちが普段着ている服の大半は、グローバルなもののづくりの仕組みに基づいてアジア諸国で製造されています。衣服生産は、現地の社会・経済にどのような影響を与えているでしょうか。インドでのフィールドワークを事例に、グローバルな視点で考えていきます。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
4	AI・ロボットから考える倫理学	人工知能やロボット技術の発達によって、最近ではAIやそれを搭載したロボットの振る舞いがますます人間に近づいてきました。そうしたなか、AIの利用やAI・ロボットとコミュニケーションをとる機会が増えましたが、その際に生じる「差別」が懸念されています。この講義では、AIの振る舞いを題材に現代社会における差別をどう捉えるかを考えます。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
5	フィールドから異文化を考える	金沢大学人文学類の考古学・文化資源学プログラムは、世界中の有形、無形のさまざまな文化を研究対象とし、フィールドワーク（現地調査）にもとづく実証的な研究を行います。異文化への理解を深め、さらには自分自身の文化を見直すことを目指しています。講義では、具体的なフィールドワークの成果を通して、文化を学ぶことの楽しさをお伝えします。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	不可	不可
6	海外での考古学調査の実例	主に中近東地域で行う考古学調査の実情を紹介しながら、考古学という学問の魅力と技術について解説します。また、エジプト文明やメソポタミア文明の違いなども講義します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	不可	不可
7	地域史料で描きなおす江戸時代—歴史学習と「歴史学」の違い—	日本各地の旧家などには、江戸時代から近現代にいたる膨大な古文書が残されていることが少なくありません。それらを読み解くことで、各地域の個性豊かな歴史を知ることができます。地域史料からどのような歴史像を描き出すことができるのかを紹介することで、大学での歴史学の楽しさをお伝えします。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
8	明清時代の中国と東アジア	17世紀には清朝が明朝に替わって中国支配を開始しましたが、本講義では、その王朝交替の意味を、日本も含めた東アジア全体の歴史のなかで捉えながら説明してみたいと思います。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	不可	不可
9	小さな国スイスの誕生	四方をドイツ、オーストリア、イタリア、フランスなど大国に囲まれた小国スイス。アルプスの山々を擁するこの国はどのように生まれてきたのでしょうか。この講座では、スイス誕生の歴史をたどりながら、修道院、貴族、市民、農民など歴史を学ぶのに不可欠の要素の具体的なイメージを捉えてみたいと思います。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
10	大学で学ぶ歴史学—戦争体験の聞き取りを事例に—	金沢大学の授業の一環として取り組んだ戦争体験の聞き取りについて、その記録と映像資料をご覧いただき、アジア・太平洋戦争についての理解を深めていただきます。あわせて、大学では歴史学をどのように学ぶのかということも説明します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	不可	不可
11	日本語学・日本文学について知る	過去の日本語・日本文学を知ることによって、現代の日本語・日本文学を改めて見つめ直すことを目的とした講義です。日本語・日本文学の歴史の中から、それにふさわしい話題を選んでお話しします。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可

No.	講座名	講座の概要	講師名	備考	受講者数 について	オンライン 対応	中学生 対応
12	英語を認知言語学から観る	英語の語彙の意味や文構造に、ヒトの一般的な認知能力や認知プロセスが反映していることを、興味深い言語現象を基に講義します。日本語の例も取り上げながら、普段使っている様々な言語表現が私たちの認知能力に動機づけられていることをみていきましょう。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
13	英米文学入門	英語で書かれた小説や詩の有名なフレーズを紹介することを通し、外国語文学の鑑賞を体験してもらうことを目的とした講義です。イギリスやアメリカの文学を代表する作品の一部分を取り上げて、そこにどのような面白さを見いだせるか考えます。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
14	外国文学を研究すること	誰もがよく知る外国文学を例に、文学研究のABC（いろは）を紹介します。大学で初めて学ぶドイツ語・フランス語・中国語などの言語で書かれた外国文学の特徴や楽しみ方、また研究手法について、具体的な作品鑑賞をまじえながらわかりやすく紹介します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
15	日本文学と外国文学を比較すること	金沢大学の文学研究の特色に「比較文学」があります。日本文学と外国文学（中国・韓国・英米・ドイツ・フランスなど）に限らず、文学と映画・漫画・アニメなど文学の周辺ジャンルとの比較もできます。横断的な文学現象を研究する面白さを、わかりやすく解説します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
16	ことばの研究	言語科学（言語学）はことばの多様な姿を明らかにするとともに、そこに潜む共通性を明らかにすることを目指しています。この講義では、ことばの多様性・普遍性に迫る話をします。また、ことばと脳/心の関係についても考えます。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可

金沢大学 スケジュール等

H P	https://www.kanazawa-u.ac.jp/
受入が難しい日程	入試のため（12月～3月）

連絡事項：

No.	講座名	講座の概要	講師名	備考	受講者数について	オンライン 対応	中学生 対応
人間社会学域法学類							
1	法と自由の関係について	現代国家の法体系は「自由」の理念とどのような関係にあるのでしょうか。著名な学者の思想を紹介しながら解説します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
2	災害と「御すくひ」の法制史	いつの時代にもどこ場所にも、一人では生活できない困窮者や弱者がいます。江戸時代には、そのような困窮者には「御すくひ（御救）」の名で生活の扶助が行われました。生活資金や食料の給付や貸与、租税の減免、更には、仮の住まいの提供、そして、職業訓練や就職口の斡旋。現代に生きるだれもがどこかで聞いたような対策ですが、さて、江戸時代の効果は？ 加賀藩の史料を中心に紹介します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
3	明律編纂の謎に迫る	明律は、中国の明王朝（1368-1644）が編纂した刑法典であり、明王朝の法体系の中核を成す法典です。明律は初代皇帝洪武帝の時代に5回編纂（改正）されたことが史料に記録されていますが、この記録を丹念にたどって行くと、一つの大きな矛盾点が存在することに気付きます。本講義では、この明律編纂をめぐる謎に迫りたいと思います。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
4	アメリカ法はでたらめか	喫煙の結果肺がんになった患者がタバコ会社を訴えたり、コーヒーをこぼしたおばあちゃんがコーヒーが熱すぎたと言ってマクドナルドを訴えたり、アメリカは、本来自己責任になるものを企業に責任転嫁をするでたらめな国であり、法律の知識を持たない一般市民から構成される陪審員が、被害者有利の評決でそれを後押ししているという見方があります。この講義では、アメリカ法が本当にでたらめなのかどうかを考えます。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
5	裁判員制度の功罪について考える	裁判員制度の概要を説明した後、戦後初めて国民を一般的に公務に動員しようとする同制度の功罪を最高裁やマスコミと異なる視点から考察します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
6	地方分権改革と地方自治	1990年代以降の地方分権改革の動向が地方自治の拡充に繋がるものであるか否かについて、自治体の広域化の動向や自治体の裁量権の拡大の意味合い等を通じて検討します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
7	犯罪成立要件論の基礎	構成要件該当性・違法性・有責性という犯罪成立の各要素及びそれらの体系的説明を通じて、全犯罪類型に共通のその成立要件論を解説します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
8	労働と法	「働く」ということに関して、なぜ社会では問題が生じるのか、また、法制度はそれに対してどのように対応しているのか、さらに、その対応の在り方は正しいのか。これらの課題について、近年生じている様々な事例を基に考えます。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
9	医療保険法のしくみ	社会保障制度のひとつである公的医療保険は、私たちの健康を守るために重要な役割を果たしてきました。諸外国の制度と対比して、わが国の制度の特徴を説明し、高齢社会における医療保険の課題を考えます。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
10	家族と法	家族に関わる具体的な法的問題、たとえば、離婚、夫婦別姓、代理懐胎（代理母）、相続等の問題を通して、法を学ぶということの意味についてお話しします。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
11	不法行為法入門	皆さんは、誰かに自分の物を壊されたら弁償をしてほしいと思うでしょうし、誰かに怪我をさせられたら治療費を支払って欲しいと思うでしょう。しかし、「お金を払え」と口で言うだけでは、相手がお金を払ってくれるとは限りません。そこで、法律に基づいて、お金を払えと請求する必要があります。この講義では、法律の中でも、民法が、どのようなルールを定めているのかについて説明します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
12	消費者と法	消費者はなぜ保護される必要があるのでしょうか。なぜクーリング・オフといった消費者保護法は採用しているのでしょうか。そういった根底の部分から、消費者と法の関係を示したいと思います。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可

No.	講座名	講座の概要	講師名	備考	受講者数について	オンライン対応	中学生対応
13	法学を学ぶ	皆さんが、学校の現社や政経の授業あるいはテレビの法律番組やニュース、刑事ドラマなどを通じて、形成している法あるいは法学のイメージは、実はものすごく表面的なものにすぎません。この講座では、みなさんのイメージを豊富化・相対化し、大学で学ぶ「学問としての法学」に興味・関心を持って頂くために、皆さんがあまり気づいていない、「わたしたちが仲良く社会生活を送るためのルール」としての法について考えてみましょう。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上で実施	可	不可
14	いつも、どんな独占も悪なのか	独占禁止法って聞くと、ほとんどの人は、独占は悪であり、禁止するための法律だというイメージが悪い浮かぶでしょう。しかし、果たして独占禁止法は、単にすべての独占を禁止するだけの法律でしょうか。独占禁止法が「禁止」している「独占」とは何かについて説明します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上で実施	可	不可
15	私たちの生活と国際的な法律関係	今日、国際結婚や離婚、外国の会社からの物品・サービスの購入など、国際的な法律関係は、私たちの生活に身近なものといえます。とはいえ、日本と外国の間には、言語や価値観のみならず、法制度にも違いがあります。国際的な法律関係や、そこから生じた紛争に直面した時、私たちはどのように対処すべきなのか、具体的な事例も見ながら考えてみましょう。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上で実施	可	不可
16	本当はとっても役に立つ法学の考え方	法学は知識を暗記していくだけの学問ではありません。大学で教える学問としては神学について2番目に古い歴史を持つ法学の構造を知れば、法学が社会のどんな場面でも役に立つということがわかります。法学を概観し、その学び方、活かし方に触れてもらうことで、これまでの法学部像を変えます。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上で実施	可	不可
17	公共政策と行政	行政の役割、各種サービスを行政が行ってきた（行政が行う必要があった）要因について確認しながら説明を進めます。また、その確認をふまえて、行政でなくともサービスが提供されるヒントに触れたいと考えています。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上で実施	可	不可
18	地方自治について考えてみよう！	地方自治は私たちの日常生活にとってもっとも身近なものです。また地方自治は民主主義の学校と言われることもあります。地方自治にはどのような役割があるのか、どのようなことが問題となっているのかについて一緒に考えてみましょう。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上で実施	可	不可
19	選挙の意義と限界について考える	国や地方の選挙の具体例等を題材にして、現代の民主政治における選挙の意義と限界について考えてみたいと思います。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上で実施	可	不可
20	政治哲学入門	現代の英米系の政治哲学・倫理学の主要なテーマになっている、「正義」「公正」「自律」「平等」「共通善」「アーキテクチャ」などについて主要論点を紹介したうえで、「政治」について哲学的に考える作法を紹介します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上で実施	可	不可
21	中国のメディアってどうなってるの？	地理的には近い中国ですが、実はよく知らない中国。中国のメディア（主に新聞とソーシャル・メディア）の歴史や現状、問題点などを、政治学の視点からとらえます。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上で実施	可	不可
22	中小企業と法	株式会社と聞くと、上場している大企業を想像しがちです。しかし、日本のほとんどの株式会社は、上場していない閉鎖的な会社です。こうした中小規模の株式会社を中心に、会社が法でどのように支えられているかを解説します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上で実施	可	不可
23	法の実現のありかたを考える	社会のルールを定めた法は、誰の手により、どのような方法によって実現されるのでしょうか。実際に運用されている法制度を素材に、法の実現という観点から社会問題の解決方法についてお話します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上で実施	可	不可

金沢大学 スケジュール等

H P	https://www.kanazawa-u.ac.jp/
受入が難しい日程	入試のため（12月～3月）

連絡事項：

No.	講座名	講座の概要	講師名	備考	受講者数 について	オンライン 対応	中学生 対応
人間社会学域経済学類							
1	経済学入門	経済は、社会生活と不可分の関係にあります。こうした私たちにとって無視することのできない経済を把握するには、どのような方法があるのでしょうか。この講義では、経済を理解するためのアプローチの方法を、専門的知見を交えて解説します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
2	経済の現象と私たちの生活	ユーロ危機や年金問題など私たちは多くの経済ニュースを日々耳にします。一方でそれらがどこか遠い世界の話のように感じられることも事実です。本講義では様々な経済現象が私たちの社会や生活にとってどのような意味を持つのか、専門的知見を交えて講義します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
3	地域の経済社会が直面する諸課題を学ぶ	Think Globally、Act Locally! 地域の経済社会が直面する問題の背後には、グローバル経済や国民経済の構造があり、同時に、足下の地域からの問題解決なくしては、世界の問題も解けません。この講義では、地域と経済の関わりについて、事例を交え、導入的にお話しします。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
4	企業経営の仕組みを知る	企業は、ヒト・モノ・カネ・情報といった経営資源を駆使して経営を行っています。本講義では、これらの内容を知ることで企業経営の仕組みを概観し、更にいかに企業経営の改善を図っていくべきかについて解説します。扱う領域が非常に幅広いため講義担当者によって多少講義内容が変化することもあります。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
5	情報とビジネス	WEBやネットワークを介した情報のやりとりは、ビジネスの3要素（ヒト、モノ、カネ）を支える血液のような働きをする必要不可欠なものとなりました。情報の進化はめざましく、情報をどのように収集し、分析し、利用するかを講義します。講義担当者によって多少講義内容が変化することもあります。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
6	グローバル時代の国際経済社会について学ぶ	通信や交通システムの進化に伴い、企業の国際展開、国境を超えた人の動きが加速しています。本講義では、国際的な経済の結びつきの概要、その歴史的展開、国際社会の変容に関することについて講義します。講義担当者によって多少講義内容が変化することもあります。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可

金沢大学 スケジュール等

HP	https://www.kanazawa-u.ac.jp/
受入が難しい日程	入試のため（12月～3月）

連絡事項：

No.	講座名	講座の概要	講師名	備考	受講者数について	オンライン対応	中学生対応
人間社会学域学校教育学類							
1	教師の立ち位置とは？	30人の学級全員を満足させる授業はどんなものでしょうか。物事の捉え方は人それぞれ違うのだから、全員を満足させられる授業などできるのだろうか？疑問に感じていないでしょうか。そして良い先生とはどのような先生なのでしょうか。おもしろい仲の良い先生が本当のよい先生なのでしょうか。そのようなことを一緒に考えてみませんか。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上で実施	不可	不可
2	すごい思考力！すごい創造力！	簡単な「描くこと・作ること」の演習によって、あなたの思考力と創造力がきらめく瞬間を体験しよう。あなたはものすごい思考力と創造力を持っている！	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上で実施	不可	不可
3	楽譜には何が書かれているのか	西洋古典音楽の楽譜には、作曲者の様々な想いが記されています。その中でもピアノ作品の楽譜を見ながら、説明していきます。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上で実施	不可	不可
4	「やさしさ」ってなんだろう？	「やさしい英会話」、「肌にやさしい化粧水」、「高齢者にやさしい街」、「やさしい彼氏」、「やさしい嘘」、「やさしい雨」、「やさしくなれないぶん」……。私たちの身のまわりは「やさしい／やさしさ」という言葉であふれかえっています。では、私たちが追い求め、希求し、渴望する「やさしさ」、あるいはその不在に私たちが思い悩み、煩悶し、呻吟する「やさしさ」とはいったいなんなのでしょうか。言葉としてはいわばインフレ現象を起こしつつある「やさしさ」の諸相に光をあてながら、〈道徳〉と呼ばれる事象のはかりがたさを考えるよすがとしたいと思います。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上で実施	可	不可
5	「しょうがい」について考える	みなさんは、「しょうがい（障害、障）のある人」に、どのようなイメージを持っているでしょうか。「しょうがい」には様々な種類があり、「しょうがいのある人」が抱える困難にも、様々なものがあります。また、社会の「しょうがい」や「しょうがいのある人」の捉え方も、昔と比べると、かなり変わってきています。これらのことを解説すると共に、「しょうがい」についてみなさんと考えていきたいと思います。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上で実施	可	不可
6	赤ちゃんと指さしのはなし：指は何をさしている？	赤ちゃんは、ことばを話すようになるまで、自分の思いを伝えることができないのでしょうか。いいえ、そのようなことはありません。例えば、指さし、指さしには、「あれを取って」「あれを見て」「あれは何？」「これだよ」など、実に様々な意味を込めることができます。赤ちゃんと指さしの不思議について、紹介したいと思います。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上で実施	可	不可
7	英語教師になるための知識—第二言語習得論から—	英語教師になるためには、大学で様々な知識や技能を身につけます。英語科教育関係の授業では、主に教え方に関する知識や技能を学びますが、その中で第二言語習得についても学びます。どのように第二言語が習得されるのかが解明されてきていますが、その成果は英語教育への示唆に富んでいるといえます。その一端を紹介したいと思います。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上で実施	不可	不可
8	子どもは自然現象をどう理解するか	子どもに理科の学習に興味をもたせ、自然現象を理解させるために、子どもがどのように自然現象を理解していくか、脳の働きから説明します。また、脳をうまく働かせるために、どのように指導していけばよいかを説明します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上で実施	可	不可
9	算数・数学の優れた教師になるために	算数・数学の優れた教師になるための基礎となる数学的活動についての講義を予定しています。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上で実施	不可	不可
10	“障害”を生活する事から考えてみませんか？	みなさんの身近に障害がある人はいますか。障害とはいったい何なのでしょう。毎日の生活に障害はどのように影響するのでしょうか。障害について考えることは、障害がない人のことを考えることにもなります。“障害”を通して、自分自身の人間観を問い直します。その上で、教育はどのような役割を担うのかを考えます。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上で実施	可	不可
11	＜わたし＞の体はわたしの＜もの＞？	私の体は私のもの、と普通は考えられます。私のものなのだから、私の自己決定に基づいて、他人に迷惑をかけないかぎり、自由に処理してもいい、とも考えられます。では、本当に「何でも」やっていいのでしょうか？この講義では、生命倫理学の問題を幾つか取り上げて、身体の自己所有という考えについて哲学的に検討してみたいと思います。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上で実施	不可	不可

No.	講座名	講座の概要	講師名	備考	受講者数について	オンライン対応	中学生対応
12	「赤ちゃんポスト」から考える家族と社会	2000年にドイツのハンブルク市に「赤ちゃんポスト」が設置され、その後他の国々でも設置されるようになりました。日本では、2007年に熊本市の民間病院が「こののりのゆりかご」と名付けて開設し、問題を問いかける契機となりました。「赤ちゃんポスト」をテーマに、現代の家族と社会の課題を考えます。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上で実施	不可	不可
13	スポーツの中の物理学	身体活動の一領域であるスポーツについて、科学的、物理学的な視点から概説していきます。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上で実施	不可	不可
14	リズムのおもしろさ	「生活リズムを整えましょう」「リズム感のよいドリブル」「テンポのよいつっこみ」など、「リズム」や「テンポ」は、私たちの生活の中でも使われる音楽用語ですが、音楽を演奏する時だけではなく、スポーツやコミュニケーションの場でも用いられます。実際に簡単なリズムトレーニングでターゲットを分化（両手両足）し、それぞれで独立したリズムを捉える体験をしてみます。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上で実施	不可	不可
15	子どもを守る！－法を基点として－	学校生活は子どもたちにとって楽しいことといばいいです。しかし危険と隣り合わせの空間でもあります。子ども同士の喧嘩によるけが、体育授業中の事故、校外学習中の熱中症などなど。子どもの安全を守るために教師に必要な視点や考え方について「法」の観点から考えてみたいと思います。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上で実施	不可	不可
16	人間の自立とは－動物と比較して考える－	人間の自立とは何か、動物と比較しながら考えます。まず、①時間軸を持っていること、②ルールを改変できること、に焦点を当てることで全ての人間が自立可能であることを示します。次に、①対話できる他者の存在、②自治（的）活動の経験が人間の自立を促す教育に必要であることを確認します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上で実施	不可	不可
17	「食べられない」には理由がある－「食べられない」を傾聴と対話で支援する－	極端な偏食や咀嚼・嚥下困難など「食にまつわる困りごと」の背景には感覚過敏などの身体感覚やストレス・不安・緊張からくる身体症状（身体の不調・不具合）もあると考えられています。しかし、本人の感覚や想いは周囲には理解されにくく、わがままや自分勝手と責められている場合もあります。当事者の声を紹介しながら「食べられない」への理解と支援を考えます。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上で実施	可	不可

金 沢 大 学

金沢大学 スケジュール等

H P	https://www.kanazawa-u.ac.jp/
受入が難しい日程	入試のため（12月～3月）

連絡事項：

No.	講座名	講座の概要	講師名	備考	受講者数 について	オンライン 対応	中学生 対応
人間社会学域地域創造学類							
1	現代社会と地域の課題	私たちは、グローバル化・環境問題・少子高齢化など、さまざまな変化に直面しています。 その急激な変化のなかで、実際に私たちが生きている地域社会は、どのような状況にあり、どのような問題を抱えているのでしょうか。またその問題解決には何が必要なのでしょう。 地域創造学は、これらの問いに取り組む学問領域です。この講義では、人と自然・地域協働・共生社会・公共政策・地域マネジメントのうち一つの視点から、地域の課題と解決について考えます。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可

金沢大学 スケジュール等

HP	https://www.kanazawa-u.ac.jp/
受入が難しい日程	入試のため（12月～3月）

連絡事項：

No.	講座名	講座の概要	講師名	備考	受講者数 について	オンライン 対応	中学生 対応
人間社会学域国際学類							
1	国際化と言語・文化	言語と文化、そして国際化する現代社会は深い関係を持っています。様々な外国語、あるいは日本語を取りあげながら、言語と文化、そして国際化の問題を考えます。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
2	国際社会に切り込む視点	歴史や文化、政治、経済などの諸側面から国際社会を検討することで、現在の諸問題を解く手がかりを考えます。これを通じ、国際社会を学習することが我々にとってどのような意味があるのかを検討します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
3	映画史と性的マイノリティ	映画はどのように性的マイノリティの経験や、特定の時代や場所において「規範的ではない」とされた性の在り方を描いてきたでしょうか。本講義では、特にハリウッドと日本の映画史を中心に、映画の歴史と性的マイノリティの関係について考えます。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	応相談
4	台湾、食とすきまの世界史	日本から台湾へは毎年多数の観光客が訪れます。旅先で私たちが出会う台湾グルメには、それらが生まれた複雑な歴史が潜んでいます。教科書では行の「すきま」でしか触れられない台湾の歴史を、食から見つめてみましょう。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可

金沢大学 スケジュール等

H P	https://www.kanazawa-u.ac.jp/
受入が難しい日程	入試のため（12月～3月）

連絡事項：

No.	講座名	講座の概要	講師名	備考	受講者数 について	オンライン 対応	中学生 対応
理工学域数物科							
1	数の世界	整数については、知っているようで、実のところは知らないことが多いと思います。それは、所謂、初等整数論を高校の数学では体系的に学んでいないからです。本講義では、数の構成要素である素数に関して、それが無数にあることの説明から始め、その後、素数について知られている事実、また、未解決な問題（予想）や暗号への応用を紹介します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
2	現代幾何学への招待	幾何学とは図形や空間の性質を調べる数学の分野です。本講義では、高等学校までの内容をもとに、宇宙や物体の形状や構造を調べる微分幾何学、DNA解析などに応用される柔らかい図形の性質を扱うトポロジーなど現代幾何学のトピックを出来る限り分かりやすく紹介します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
3	世界を変えるコンピュータと数学	数学とコンピュータの結びつきが複雑な様々な現象を扱うことを可能にし、これまでわからなかった新しい発見が生まれています。本講義では、現象の数値モデリング、微分方程式と数値シミュレーション、データサイエンス・機械学習の数値、数式処理システム、数理ファイナンスなどの話題を通して、最先端のコンピュータがどのように数学に裏付けされて利用されているかを分かりやすく紹介します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
4	量子物質の謎にせまる	世界に存在するすべてのものは原子・分子の集合体で形成され、それらのつながり方の違いが多様性に満ちたこの世界を形づくっています。人間は量子物理学を通してこのような原子・分子のつながりを調べ、半導体・磁石・超伝導体・タンパク質といった様々な物質を理解し、便利な現代社会を作り上げてきました。この講座では物理学の研究を通して見るミクロで多様な物質の世界を分かりやすく紹介します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
5	宇宙・素粒子の物理学	宇宙と言っても研究対象は幅広いです。例えば、宇宙には暗黒物質が存在しており、いまだに謎に満ちています。また宇宙に存在するブラックホールから多様な高エネルギー天体物理現象が起きています。この講座では、テーマを決めて、理論的または観測的な面から宇宙の物理学分野について分かり易く講義したいと思います。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
6	コンピュータで探るサイエンス	コンピュータの性能向上に伴い、自然界の基本原則に基づいた方程式を数値的に解くことにより、サイエンス(自然科学)を探索できるようになってきました。これにより自然現象の新しい発見や解明あるいは科学技術開発を、より迅速に推進することが期待されています。このような学問分野の一端を紹介します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
7	スパコンが拓く新しいものづくりとSDGs社会	スーパーコンピュータ(スパコン)富岳に代表される高い計算性能を持つスパコンは、社会の発展のために様々な分野で活用がなされています。スパコンの高い性能を活かし、精密な理論に基づく手法や、機械学習といった人工知能に関わる手法を用いることで、“ものづくり”においてもスパコンは重要な役割を担っています。本講義では、ナノ物質をはじめとする新物質開発やSDGsへのスパコンの応用について講義を行います。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可

金沢大学 スケジュール等

H P	https://www.kanazawa-u.ac.jp/
受入が難しい日程	入試のため（12月～3月）

連絡事項：

No.	講座名	講座の概要	講師名	備考	受講者数 について	オンライン 対応	中学生 対応
理工学域物質化学類							
1	物質の構造と性質	原子の発見から、原子・分子の構造と性質およびイオンの性質を含め、大学生レベルの知識を高校生にも理解できるよう分かりやすく講義します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	不可	不可
2	生命と化学	酵素のはたらきについて、身近に存在するものを例に取り上げて、基礎から応用まで幅広くお話しします。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
3	物質を分ける，はかる化学	分子やイオンの性質や挙動を調べるには、目的に合った分離と計測の方法が必要になります。物質の分離・計測化学について基礎から応用までわかりやすく講義します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
4	分子と金属イオンでつくる化学	原子同士の共有結合により分子ができるように、分子と金属イオン、あるいは分子と分子から、より大きな粒子（金属錯体、超分子）がつけられます。金属錯体や超分子の基礎から最先端の研究までをわかりやすく解説します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
5	有機分子が命を救う！ 有機化学で見る医薬品の秘密	薬が効く仕組みを「有機分子」の視点から解説し、有機化学が医薬品開発で果たす役割をわかりやすく紹介します。身近な例を通じて、有機化学の魅力と未来の可能性を解説します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
6	身の回りの放射線	身の回りの放射能・放射線についての基礎的な話をします。また、放射線の科学の分野での利用を含め、我々の生活にどのように役に立っているかを講義します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
7	周期表の化学	周期表の典型、遷移金属元素からなる化学物質の基本および構造と性質について解説します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
8	洗剤だけじゃない。界面活性剤の話	界面活性剤といえば、まずせっけんや洗剤が思い浮かぶと思いますが、身の回りには快適な生活を支えるために、いたるところでいろいろな界面活性剤が活躍しています。これらを紹介するとともに、機能を発揮する仕組みについて説明します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
9	未来を支える電池の役割とそのしくみ	我々の生活には電池は欠かせないものとなっています。次世代エネルギー技術の本命とも呼ばれる燃料電池を中心に、化学的な視点で電池の仕組み（化学／電気エネルギーへの変換）と問題点、将来にわたる役割について説明します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	不可	不可
10	高分子（プラスチック）の不思議な世界	一般の分子（低分子）は分子量が高々数百であるのに対して、高分子は1万以上（百万を超えるものもある）と桁外れに大きく、巨大分子であるがゆえに材料として様々な用途があり、人類は古くから天然高分子材料を利用してきました。しかし、その化学が学問として確立したのは20世紀に入ってからです。Bakelandによる最初の合成樹脂ベークライトの発明、Carothersによる合成繊維ナイロンの発明は、今日のプラスチック時代へと引き継がれ、社会を一変させました。本講義では、身近な、又は先端的分野での不思議な高分子の化学について説明し、機会があれば実際に合成を体験し材料に触れてもらいます。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	不可	不可
11	分子次元の鏡の世界と香りの化学	「鏡の国のアリス」を読んだことがありますか？「鏡の国」ってどんなところでしょう？世の中には鏡に映したモノが元のモノと同一な場合と異なる場合があります。実は私達の体も分子レベルで見ると鏡に映した体と「あべこべ」になります。本講義では、「香り」をキーワードに「鏡の国」を分子レベルで案内します。大学で学ぶ「立体化学」と呼ばれる学問分野の一端をのぞいてみましょう。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	不可	不可
12	環境問題と分析技術	地球温暖化、富栄養化、酸性雨、光化学スモッグ、地下水汚染、オゾン層減少、重金属による水質汚染等の環境問題の中からトピックを選んで頂き、ご要望に応じた課題に関して環境汚染のメカニズム、観測技術、対策技術等について最新の研究成果を解説します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可

金 沢 大 学

金沢大学 スケジュール等

H P	https://www.kanazawa-u.ac.jp/
受入が難しい日程	入試のため（12月～3月）

連絡事項：

No.	講座名	講座の概要	講師名	備考	受講者数 について	オンライン 対応	中学生 対応
理工学域機械工学類							
1	エネルギーの利用と地球の守り方	人類の持続的な活動のためには、地球環境の保全とエネルギーの効率的な利用が不可欠です。この講義では、金沢大学の最新研究を交えながら、創造的なエネルギー利用、省エネルギー技術、CO2の回収・利用などの技術開発に焦点を当て、それらがいかに社会の維持と発展に寄与するかを説明します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
2	未来を形にする最新のものづくり	自動車や家電など、私たちの身の回りの製品は、さまざまな材料と技術を組み合わせて作られています。この講義では、コンピュータを使った設計や加工、ロボットによる製造支援、そして3Dプリンタなどの技術進化によって発展している「ものづくり」に焦点を当てます。金沢大学の最新研究を交え、各技術の最新動向や未来のものづくりについて分かりやすく説明します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
3	夢のマシンをつくる鍵は材料にあり	これまでに存在しない新しいロボット、ロケット、自動車などの機械を実現するためには、優れた材料の開発が不可欠です。原子や分子の並び方を考慮した設計により、軽くて強い材料や効率的に水素を蓄えられる材料、環境に優しい燃料電池などが可能になります。この講義では、金沢大学で進行中の研究を交え、材料開発の革新的な側面に焦点を当て、夢の機械を造るための鍵に迫ります。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
4	数学と物理学が生み出す先端テクノロジー	「数学と物理学が生み出す先端テクノロジー」は、未来の革新的な技術を生み出す鍵を解き明かす冒険です。数学は複雑な計算やモデリングにおいて、先端テクノロジーの基盤を提供し、物理学は自然法則を理解し応用する力を与えます。この講義では、金沢大学の研究を通じて、数学と物理学がどのようにして新しい機械のテクノロジーを育てているのかを紐解きます。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可

金沢大学 スケジュール等

H P	https://www.kanazawa-u.ac.jp/
受入が難しい日程	入試のため（12月～3月）

連絡事項：

No.	講座名	講座の概要	講師名	備考	受講者数 について	オンライン 対応	中学生 対応
理工学域電子情報通信学類							
1	電気をつくる、かしこくつかう	電気はあって当たり前、ないと困るものです。化石エネルギーの枯渇問題や地球温暖化の問題だけではなく、自然の力を利用する再生可能エネルギーでは、安定供給も問題となっています。これらの問題を解決する手段の一つとして、金沢大学で取り組むユニークな研究を紹介します。具体的には、振動から電気をつくる技術、または、ダイヤモンド半導体で電気をかしこくつかう技術について説明します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
2	反応性プラズマの世界 ～プラズマを作ってみよう～	プラズマとは、電離反応により生成されるイオンや電子が含まれる気体です。「固体」-「液体」-「気体」に加えて「第4の状態」とも呼ばれています。自然界ではオーロラや雷がプラズマです。身の回りではエンジン点火の火花放電、産業界では半導体の製造 & 高度化のためにプラズマが大活躍しています。講義では、大気圧プラズマの生成を実演した後に、様々な産業の分野において、プラズマが活用されている事例を紹介します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
3	光のふしぎ	「空は青く、夕焼けはなぜ赤いのか」「水は透明なのに見えるのはなぜか」「太陽電池はどうやって電気を作っているのか」など、光に関する疑問はたくさんあります。これらは光のさまざまな現象（反射、屈折、回折、偏光、吸収など）を用いて説明できます。本講義では、これらの光の不思議さを体験し、また世の中のどこで役立っているかを知ってもらいます。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
4	「量子」は何に使えるの？	最近、「量子」という言葉を耳にすることがあるのではないのでしょうか。2022年ノーベル物理学賞に「量子もつれ」の研究が選ばれたり、「量子コンピュータの商用化」がニュースになったりと、たまにTVでも目にする「量子」。実は、現在世界中でとても激しい開発競争がなされています。「量子」、…、なんか凄そうだけど、良く分からない」「本当に役に立つの？」そんな疑問に答えるため、本講義では「量子」技術応用について分かりやすく解説すると共に、現在の最先端研究を紹介します。具体的には量子コンピュータ、又は量子を使った計測技術である「量子センサ」について紹介します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
5	機械学習のしくみ	現在、色々な分野で注目されている人工知能（AI）は、人間の知的な活動をコンピュータで再現する技術です。機械学習はAI実現のための代表的な技術で、与えられたデータを学習して、そこに含まれる特徴や規則性を見つけ出すことで、目的に応じた処理を可能とする手法です。本講義では、機械学習のしくみと具体的な応用をわかりやすく説明します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
6	巨大なデータをどう使う？どう送る？	皆さんの身の回りでは、様々なビッグデータが日々の生活の至る所で蓄積され、暮らしを便利にする仕組みへと活用されています。本講義では、ビッグデータを蓄積・配信する情報通信技術や、膨大なデータの中から重要な情報を見つけ出す先端データ処理技術などを解説し、皆さんの手元から遠い宇宙までの応用例を紹介します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
7	インターネットのしくみ	インターネットのしくみや設計・運用について、次の2テーマのいずれかをわかりやすく解説します。 1. インターネットの設計目的・基本構成・サービスについて解説します。 2. ネットワークを増強したのかえって通信混雑が増えてしまうという不思議な現象について解説します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
8	暗号と情報セキュリティで守る 私たちの情報	スマートフォンでSNSを利用する場合など、私たちは知らず知らずのうちに暗号などの情報セキュリティ技術を利用しています。本講義では、私たちの身近にある情報セキュリティ技術、それら技術がどのように実現されているのか、さらに情報セキュリティ研究の最先端として量子コンピュータと暗号との関係について紹介します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
9	通話を聞きやすくしているしくみ	スマートフォンやPCによる音声認識は、近年では身近なものとなっています。本講義では、電話音声聞きやすくするしくみや音声認識でも用いられる音声強調について分かりやすく紹介します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
10	人工衛星のしくみ	地球の周りには数多くの人工衛星が回っており、宇宙から地上の天気を調べたり、テレビ番組を放送したり、カーナビでクルマの位置が分かる電波を出したりしています。金沢大学では超小型の人工衛星を作って宇宙を調べています。人工衛星とはどのようなもので、どのように私たちの生活に役立っているか。どのように作り、どのように動くのかなどについて、分かりやすく解説します。また、電子情報通信の最新技術が、人工衛星とどのように関わっているのかを紹介します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可

金沢大学 スケジュール等

H P	https://www.kanazawa-u.ac.jp/
受入が難しい日程	入試のため（12月～3月）

連絡事項：

No.	講座名	講座の概要	講師名	備考	受講者数 について	オンライン 対応	中学生 対応
理工学域フロンティア工学類							
1	ヒトを支えるエンジニアリング	医療や福祉の分野では工学が提供する多様な先端技術が重要な役割を担っています。本講義では、工学がヒトの健康や生活にどのように役立っているかなど、具体例をまじえながら人を支えるエンジニアリングについて紹介します。	本学教員	※No.1をご希望の場合、具体的なテーマはこの4つの中から大学で決定します。いずれも、プロジェクター・スクリーン使用。	10名以上で実施	可	不可
	機械の知能化	身の回りに賢い機械はないでしょうか？エアコンの温度調整から飛行機の自動操縦まで、現代社会には知能化された機械がたくさんあります。その中でも特にロボットや自動運転自動車、航空・宇宙機などの知能化についての先端的な研究について紹介します。	本学教員		10名以上で実施	可	不可
	機械と不思議	本テーマでは、機械や構造物とその周辺に見られるさまざまな物理現象のうち、主に材料/構造に関わる不思議な現象を取り上げ、機械の高性能化/安全性向上に役立ち、応用される面白い現象などを幅広く紹介します。	本学教員		10名以上で実施	可	不可
	計測・制御・信号処理	計測・制御・信号処理技術は、原子スケールのものから身の回りのもの、そして大きな機械まで、様々なものに使われています。この講義では原子間力顕微鏡などを使って計測する技術や音を加工して活用する信号処理技術、機械や乗り物を制御する技術などについて分かりやすく説明します。	本学教員		10名以上で実施	可	不可
2	化学工学のものづくり	私たちの身の回りには様々な化学製品が用いられています。環境への負荷を考慮しながら化学製品を創り出す、化学工学について説明します。最先端の新素材やエネルギー変換技術、環境負荷低減技術まで、化学工学がものづくりに果たす役割について概説します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上で実施	可	不可
3	究極のマテリアルをつくる工学	マテリアル（材料）開発は、分子レベルの機能設計とそれを実現するシステムの開発が両輪となって進められています。この講義では、究極（高性能、ナノレベル）のマテリアルをいかに作る（実現する）かについて、当学類の研究紹介も含めて解説します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上で実施	可	不可

金沢大学 スケジュール等

H P	https://www.kanazawa-u.ac.jp/
受入が難しい日程	入試のため（12月～3月）

連絡事項：

No.	講座名	講座の概要	講師名	備考	受講者数 について	オンライン 対応	中学生 対応
理工学域地球社会基盤学類							
1	地球の環境と変化	地球は4 6 億年前に誕生して以来、様々な環境変化を受けてきました。またその過程で多くの生物が進化・絶滅をしてきました。これらの地球史の一端やPM2.5や黄砂の成因、放射性物質の除去などについて、エピソードを交えながら紹介します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
2	変動する地球	なぜ日本には火山や地震が多いのか、地球を構成する岩石や鉱物、それらが織りなす構造、そして日本列島の形成などについて、最新の知見などを交えながら、分かりやすく説明します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
3	車両走行による高架橋周辺における振動問題について	高架橋上を大型車が走行した場合、地盤振動や低周波音などがその高架橋から周辺家屋に伝播し、問題となることがあります。それらの振動問題の事例やその対策についてお話しします。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
4	北陸地域における水災害に学ぶ	大雨がもたらす洪水災害、発達した低気圧に伴う高波や高潮、海岸侵食、地震による津波など、私たちは水に関わる様々な災害と隣り合わせに暮らしています。これまでに北陸地域を襲った水災害の概要やメカニズムと、その対策などについて紹介します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
5	下水を浄化する微生物をみてみよう	下水処理のしくみを講義し、その浄化に係る微生物の顕微鏡観察を行ったりします。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
6	豊かな地域づくり・まちづくり	人々が集まり、交流し、活力ある地域やまちにするために、また、便利で豊かな暮らしをおくるためにどのようなまちづくりを行えばよいのか、どんな地域を目指せばよいのかをお話しします。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可

金沢大学 スケジュール等

H P	https://www.kanazawa-u.ac.jp/
受入が難しい日程	入試のため（12月～3月）

連絡事項：

No.	講座名	講座の概要	講師名	備考	受講者数 について	オンライン 対応	中学生 対応
理工学域生命理工学類							
1	生物のかたちと進化	最近の研究により生物の形をつくりだす遺伝子についての理解が進み、多様な生物が遺伝子セットを共有することが明らかになっています。生物はどのようなメカニズムで形をつくるのか、また、どのようにして多様な形を進化させたのか、について解説します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
2	生物のくらしと環境	自然界の成り立ちを理解することは、人類存続のため欠かすことのできない課題になりました。生物と環境の関係を多様な生物を例にとり、個体、個体群、群集、生態系レベルで講義します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
3	生物のしくみと制御	全ての生物には、時には過酷な環境の中で、生命を維持し、次の生命を再生していくための、いろいろな仕組みがあります。巧妙な生命の維持・制御機構について講義します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
4	バイオの力	バイオ工学は、生物学（とくにバイオサイエンス）の知識と工学的な発想を融合した学問分野です。そのバイオの可能性について、講師の専門分野に沿って講義を予定しています。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
5	バイオによるものづくり	医薬・食品・化学・環境など様々な分野における‘バイオによるものづくり’を行なう上で必要となる生物学的な知識やその工学的な利用技術に関する研究事例について講義を行います。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
6	バイオとコンピュータ	近年、ヒトの全DNA配列情報を始めとして様々な生命情報が次々と蓄積されています。この講義では、これらの膨大な生命情報からコンピュータを駆使して複雑な生命現象を理解したり、食品・環境・医療などの分野で有用な知識を発見する方法について、研究事例を交えて解説します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可

金 沢 大 学

金沢大学 スケジュール等

HP	https://www.kanazawa-u.ac.jp/
受入が難しい日程	入試のため（12月～3月）

連絡事項：

No.	講座名	講座の概要	講師名	備考	受講者数 について	オンライン 対応	中学生 対応
医薬保健学域医学類							
1	医学研究と医療のフロンティア	医学類の概要とともに、学生生活、入試制度、教育内容、研究内容、最先端医療などを紹介する。そのために、医学類において講義されている解剖学、生理学、生化学、病理学、微生物学、再生医学、遺伝学、薬理学、免疫学、衛生学、公衆衛生学といった学問分野や、内科、外科、総合診療、救急医学、画像診断学、小児科、耳鼻科、眼科などの臨床医学における最先端医療の中から、トピックスを選び高校生向けにやさしく紹介します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可

金沢大学 スケジュール等

H P	https://www.kanazawa-u.ac.jp/
受入が難しい日程	入試のため（12月～3月）

連絡事項：

No.	講座名	講座の概要	講師名	備考	受講者数 について	オンライン 対応	中学生 対応
医薬保健学域薬学類							
1	医薬品を創る	新しい薬が創られ、患者さんに使用されまでには、長い時間と、様々な情報、多大なる研究費用、そして熱意が必要です。また、最初に考えた化合物が実際に患者さんに使われる可能性は数万分の1という低い確率であるのが現状です。創薬が何故難しいか、さらにそこに挑戦するためにどのような専門性を持つ研究者達が関わっているか等をお話しします。また、天然資源から探し出されたなじみ深い医薬品のトピックや薬学や健康に関するような化学の話を紹介・解説します。（講義内容は上記のうちのの一部になります）	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
2	生命科学の最前線	生命科学は日々進歩していますが、がん、糖尿病、アルツハイマー病など、私たちの寿命を左右する大きな疾患についても、未だ不明な点が多くあります。また、ゲノムの多様性による免疫応答の個人差が原因で移植拒絶反応が起き、現在開発が進められている再生医療でも、この拒絶反応が実用化の妨げのひとつとなっています。遺伝のしくみとともに、最近注目されているiPS細胞ではこの問題点を解決できる等の紹介、世界的に求められているより安全で有効なワクチンの現状や課題、環境問題と健康への影響、さらには、生命科学の必要性や問題点などを含めて、講師の取り組んでいる生命科学の最前線について講義します。（講義内容は上記のうちのの一部になります）	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
3	薬の動きと働き	投与された医薬品が投与部位から体の中をどのように動いて疾患部位に到達し、薬理作用を発揮するか、医薬品は生体にどういう反応を引き起こすか、どうして注射や内服など様々な投与形態があるか、何故食前や食後の指示があるか、飲食物がどのように影響するか、生体のどのような分子と反応して病態を改善するか、医薬品の作用・副作用に認められる個人差は何故生じるのか、などについて、具体例を挙げながら解説します。（講義内容は上記のうちのの一部になります）	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
4	くすりの適正使用と薬剤師の役割	薬は、使う量やどのように投与するのか等の条件が決められて初めて患者さんに使うことができます。しかし、使い方の情報が少ないと、適切に薬を使うことが出来ず、十分な効果が得られないまたは副作用が発症するなどの有害事象につながります。薬を効果的にかつ安全に使用するための取り組みと薬剤師の役割などを紹介します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可

金沢大学 スケジュール等

H P	https://www.kanazawa-u.ac.jp/
受入が難しい日程	入試のため（12月～3月）

連絡事項：

No.	講座名	講座の概要	講師名	備考	受講者数 について	オンライン 対応	中学生 対応
医薬保健学域医薬科学類							
1	生命医科学研究ことはじめ	生命医科学コースの概要、宝町キャンパスの学生生活、教育内容、研究者のキャリアパス、研究内容などを紹介します。研究内容は、解剖学、生理学、生化学、病理学、再生医学、公衆衛生学、遺伝学、ゲノム情報学、微生物学、ウイルス学、免疫学など多岐にわたる分野の中から、その一部を高校生向けに分かりやすく紹介します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
2	創薬科学研究ことはじめ	創薬科学コースの概要、角間キャンパスの学生生活、教育内容、研究者のキャリアパス、研究内容などを紹介します。くすりの開発から適正な使用ができるようになるまでに必要な、生薬・天然資源、有機化学、薬理学、薬物動態、薬物代謝、病の原因解明に関する研究など多岐にわたる創薬科学研究分野から、その一部を高校生向けに分かりやすく紹介します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可

金沢大学 スケジュール等

HP	https://www.kanazawa-u.ac.jp/
受入が難しい日程	入試のため（12月～3月）

連絡事項：

No.	講座名	講座の概要	講師名	備考	受講者数 について	オンライン 対応	中学生 対応
医薬保健学域保健学類							
1	人々の健康に貢献する看護学	担当講師の専門分野を例に、看護学はどのように人々の健康に貢献するのか、そのための大学における看護師・保健師の基礎教育について説明します。また、卒業後の活動やキャリアアップ、助産師の教育課程についてもイメージできるよう説明します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
2	放射線機器・薬品による診断/治療技術	放射線機器及び薬品を用いた診断・治療技術はめざましく進化しています。それらが医療にどのような貢献をしているか、また放射線医療における基礎から応用までの最新研究について講義します。（派遣講師によっては、病院における診療放射線技師の役割も混じえて講義します）	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
3	医療診断技術で健康を支える臨床検査学	病院で行われている検査は、病理・生化学・血液・心電図・細菌・ウイルス・免疫・遺伝子など様々な分野に渡っており、これらを一手に担っているのが臨床検査技師です。本講義では、現在そして未来の医療における臨床検査の役割をわかりやすく説明します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
4	リハビリテーション医療と理学療法	リハビリテーション医療と理学療法について概説します。起きる、立つ、歩くなどの基本的な動作能力を改善させることが理学療法士の役割です。その理学療法士の仕事内容を紹介しつつ、大学における理学療法学研究の一端を講義します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可
5	人の日常生活を支える作業療法	作業療法は、子どもからお年寄りまで、ケガや身体・精神の病気など、対象とする障害の範囲が広く、食事・着替えといった身の回りのことから、遊び・勉強といった生活に必要な能力を改善させることが作業療法士の役割です。人の日常生活を支える作業療法は、医学、脳科学、心理学、工学、社会学などを融合させた発展が期待されています。作業療法の魅力をわかりやすく講義します。	本学教員	・プロジェクター ・スクリーン使用	10名以上 で実施	可	不可